

飼料タンク支柱の歪みを検知して 飼料の残量を測る!

歪み感知式飼料残量センサー

ナノライクセンサー

飼料高騰対策の第一歩は飼料の消費量を把握すること!

『ナノライクセンサー』は飼料タンク内の飼料残量を測るセンサーです。



【特長】

- ◎飼料タンクの支柱1本にセンサーとアンテナを取り付けるだけ
(支柱の数だけ必要なロードセルに比べて低コスト、設置が簡単)
- ◎柱の“歪み”を直接測るので、飼料のブリッジや比重は影響しない
- ◎測定データはクラウドにアップロードされ、スマホやPCで、
どこからでも残量チェック可能
- ◎バッテリー搭載のため電気工事が不要
- ◎既存のタンクに簡単に設置できる
- ◎投入量補正を繰り返すことで、機械学習により精度向上

【製品構成】

- A : アンテナ
- B : 歪みゲージセンサー

▼設置作業の動画



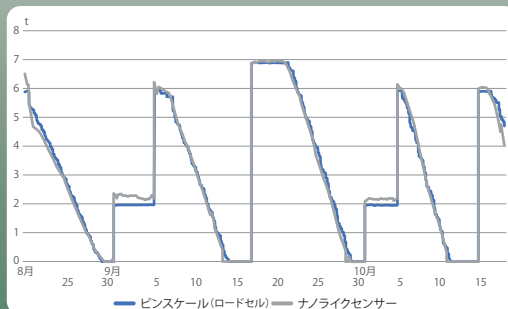
飼料残量を
リアルタイムに
把握!

性能等

- ・測定頻度：1回/時
- ・バッテリー寿命：約5年
(クラウド使用期間は4年)
- ・メンテナンスフリー

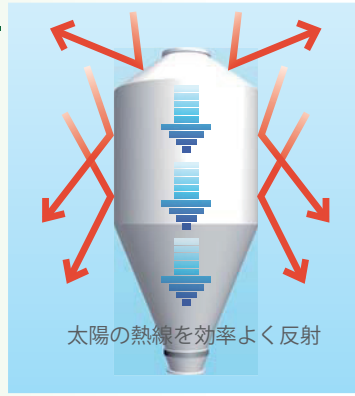


■ロードセルによる実測値との比較

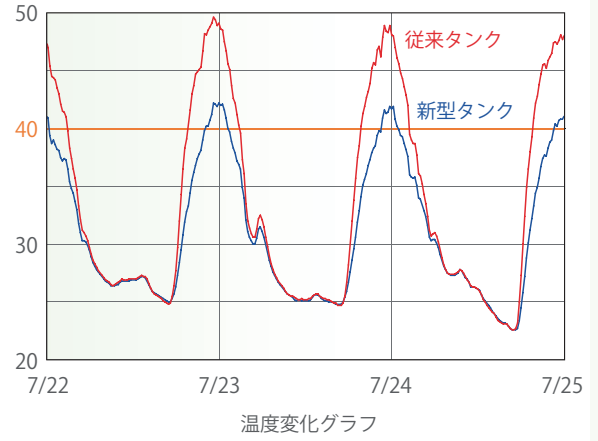


飼料タンク

- ゲルコートによる白色のFRPがタンク内部の温度を下げ、飼料の変敗を防ぎます。
- 構造色であるため表面が劣化せず、耐久性にも優れています。



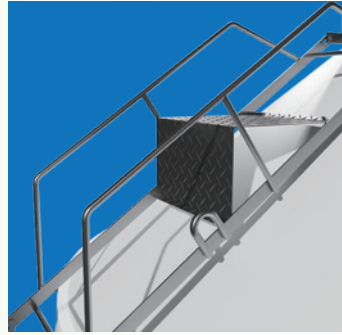
イメージ図



温度変化グラフ

安全への配慮

- 安全帯フックを固定するU環を上梯子に取付けました (YA-10のみ)
- 投入口遠隔開閉器により、飼料タンクへの昇降機会を低減。作業負担を減らします。



上梯子に設置されたU環



遠隔開閉器の開閉状況

付属部品

飼料取出し口用部品

飼料の種類によって取り出し部分を替えることが出来るので、あらゆる飼料の取り出しをスムーズに行うことができます。



クローバー



シューター



パタフライ

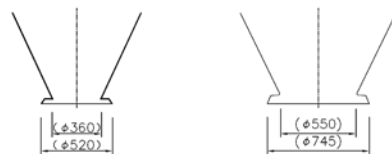


ハイキューブ

ラインナップ

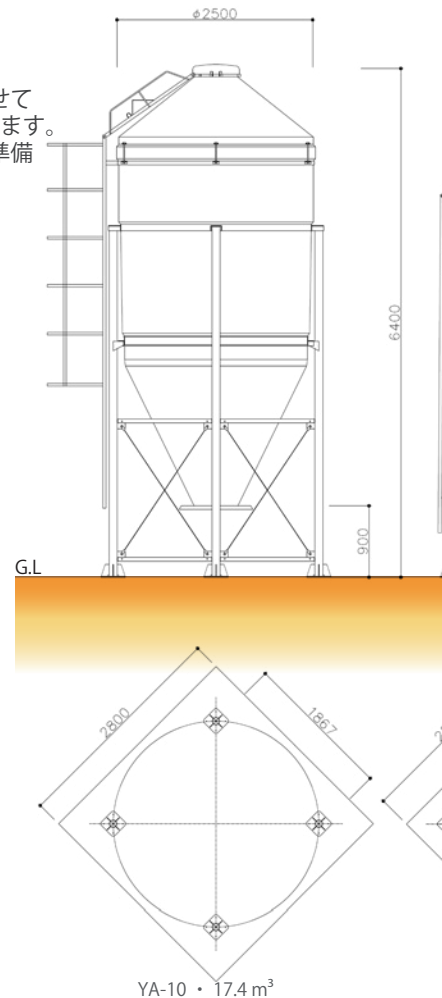
飼料タンクは、お客様の畜種・農場規模に合わせて容量別に6種類のラインナップを取り揃えております。飼料取出しの金具についてもオプションを多数準備しております。

取出し口詳細図



2t~7t

10t



YA-10・17.4 m³

ナノライクセンサー

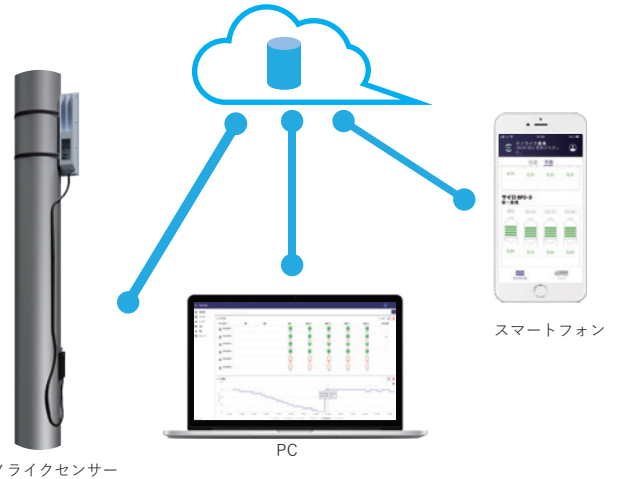
リアルタイム残量管理

- ・センサーで測定されたデータは全てクラウド上に収集・データ処理されます。
- ・PCまたは専用アプリ上にてリアルタイムに飼料残量を閲覧できます。
- ・現在の飼料残量のほか、過去のデータ・4日後までの予測値を表示します。



[製品構成]
 上：通信アンテナ（バッテリー内蔵）
 下：歪ゲージセンサー

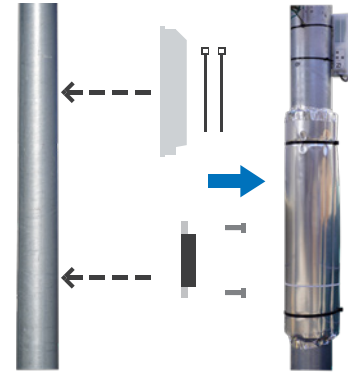
正確な需給予測



- ・飼料の残量を監視することにより、在庫の正確な予測を実現します。
- ・残量グラフおよび予測マップを作成して、飼料在庫の発注管理や豚の増体管理にも活用できます。

取り付けが容易

- ・飼料タンクの柱一本にセンサーとアンテナを取り付けます。
- ・バッテリー搭載のため、電気工事が不要です。
- ・既存の飼料タンクにも設置できます。
- ・柱の歪みを直接測っているため、飼料のブリッジや比重は測定に影響しません。
- ・投入量補正を繰り返すことで、機械学習により精度が向上します。



既設タンク柱へ容易に取付可能です

